夕刊 磐城新聞 六月十日發行
日曜祭日翌日休刊

アルバムから 四

赤井嶽男

○

三十日出立途中無事客舍に着き元の教官柴田大尉の指揮を受け大体の模様を聞き、本日第八中隊付に相成候、明日は飯盛山へ行軍にて先づ足ならし位のつもりと存じ候

大正十四年十月一日
於若松 長久保 赴

○

四日出發猪苗代町舍營、五日中隊演習三本杉村舍營六日は聯隊野外演習、最右翼の特別小隊長にて大隊長直轄、大に働き本宮舍營、七日は松川に於て演習豫備隊にて戰闘には參加せず金谷川に舍營、八日滯在九日の朝から雨の中を一日演習夜は退却から追擊で一睡もせず、更に將候斥候で二時から九時迄走り通しました

同 十月十一日
於梁川町 長久保 赴

○

廣漠たる古川平野は曉の霧詩の如く立ち罩め朝日の爲に次第に晴れ渡る時待ちに待ちたる大演習は開始せられ候、泥濘の惡路各々準備運動をなし意氣頓に昂るを覺え候、第三旅團は前衛となり歩兵第廿九聯隊は中央縱隊として陸羽街道を南進する敵（一ケ師團）を擊滅すべく涌谷を午前八時に出發第二大隊は前兵となり我第八中隊は尖兵中隊、小生は尖兵長にて大演習第一日の先頭に起ち申し候、尖兵の處置の適否は兩軍の勝敗を制すべきもの丶爲に四つ塚原の據點の占領に死力を盡し奮戰致し候

同 十月二十一日
福田町露營地 長久保 赴

○

大演習第二日目は高淸水南方臺町にて歩兵第廿八聯隊に對抗し夜半情況不利の爲退却の命に接し我中隊は後兵となり、又軍の最殿軍を勤め一時より退き石卷街道を利府に向ひ退却、敵の追擊は急激にして小牛田東南方長岡新田に於て既に退路を絕たれ我第二大隊は決戰の已むを得ざるに至り奮戰攻擊に轉じ之を破碎し日沒漸く收容せられ利府に入り途中松島に休憩致し候、仙臺在學中度々出向きたる處とて懷舊の情湧然として起り申し候

同 十月廿二日
於仙臺露營地 長久保 赴

唄ふ
うす月に山吹の門とざしあり
梅林に萱の日ざしの閑かなる
武門
冷やゝかに靴みがゝれし玄關かな
若鮎に石うつくしき瀨となりぬ
春の灯や天井低き喫茶店

中野小竹

珠雲 小野務平

眉尖刀閃暗中寒
巾幗猶思社稷難
奮鬪多時終死節
緋忠爲孝萬人看

その日

6月11日
△日章旗を本邦總船舶の記號と定む（完政元）△敎職員互助會に三萬圓御下賜（昭和七）△サルバドルの颶風に死者二千と發表（同九）

○

身邊の知己が轉任になつたので驛のホールへ見送つた。然し、別れるといふことは、何となく惡いものだ。

潮聲硯靜抄帳

第八十集 丹羽翠雨選
雜詠

たちよれば春潮わたる風寒く 石城
摘草のいつかはなれて一人なる
摘草の風の中なる兒は

六月題詠。『初夏雜詠』歌數制限なし。
投稿締切 六月二十日。

腕時計と懷中時計

時の記念日に
大竹秋平

狹い埃多い處へ多勢住んである都會人と、廣々した埃の少ない鄙に生活する田園人とは、どちらが健康であり、長壽でありませうか、考へて見ると腕時計は都會人、懷中時計は田園人の生活狀態に似通ふて居ります。卽ち腕時計は形は小さくても部分品は懷中時計と同數でありまして、丁度人家稠密の都會の[illegible]間[illegible]、殊に腕につけられ[illegible]露出してゐる爲めに埃は入り易く、且腕は常に靜止する事なく絕えず動くので振動も激しく、打ち付けたり、硝子を毀したりすることが絕えません

それに引換へ、懷中時計は形も大きく常にポツケツトや懷にあるので埃の入り方も少なく、外部から受ける損傷も遙に少ないばかりでなく、常に靜止の狀態に置かれてありますから、機械の活動は十分で、從つて正確な時を報ずることが出來ると云ふ譯であります。

これが懷中時計の優れた點でありますが、兎に角正確と堅牢を望まるゝ場合は懷中時計、腕時計、何れでも成る可く比較的大形の機械を御使用になり、正確なるタイムを計り、時の觀念の普及に尙一層力強く努めませう

小說 誰が殺したか (40)

今野賢三作
龍造寺膽齋畫

第二の殺人（十）

課長はおもむろに眉を上げてじつと古川刑事の顏を見つめた

『なる程。實は僕も今そのことを考へてゐた所だが、君はどういふ理由でそれを持出して來たんだね』

古川はちよつと困つたやうな顏をして

『さう仰しやられると私も實は可なり漠然とした根據ですが、ねえ課長、先づ咲山學士と令孃と戀愛關係があつたんではないかと考へられます。隨分親密らしかつたですからね。そしてこの夏に本邸へ出入りして令孃と會つてゐたといふのは咲山醫學士だけですからね、あの事件の三、四日前に咲山醫學士だけが訪問して、可なり長時間に亙つて何かひそ／＼と語りあつてゐたといふぢやありませんか。假りに自殺とするとその自殺の原因はどうも課長られてゐるやうな氣がするんです』

『成程、君の考へてゐる事は矢張り僕の考へてゐることだ。僕もそれに目をつけてゐるのだが、それで實は花村刑事に命じて咲山醫學士を調べさしたんだ。何しろ學生時代から非常に眞面目な男で、若い人格者だといふことだからね。然しさうだ。兎に角あの死體について解剖上の意見を聽かなければいけないから咲山醫學士を呼ぶ事は非常に都合がいゝ。そこで藤五郎については君はどんな意見を持つてゐるのかね』

『さうですね、女中達の話ではどうやらあの若い植木屋も令孃とは親しく口をきく間柄だつたといひます。それればかりではない。たつた今私が東京驛で乘替へをする時に藤五郎とすれ違つたわけです、さうすると私が刑事だといふことに氣がついたのかどうか分りませんが、私の姿を見ると妙にあわてゝ驚いたやうな顏をして四邊を警戒でもするやうな目を配りながら、あはてゝ櫻木町の電車へ乘つて行つたんですがねえ……』

『なる程、それについて君は藤五郎についてもつと詳しい調べをしなかつたのかね』

古川は頭をかきながら

『實は課長の指揮を仰いだ上と思ひまして』

『さうか。早速君はその藤五郎の後をつけ給へ』

『はつ、畏まりました』

古川は課長室の外へ出ると慌しく飛ぶやうに走つて何處かへ姿を消して行つた

山上課長は直に國立附屬病院へ電話をかけた。そして咲山醫學士を電話口に呼んだ

咲山の何時もの冷靜な聲が課長の受話機に傳はつて來た

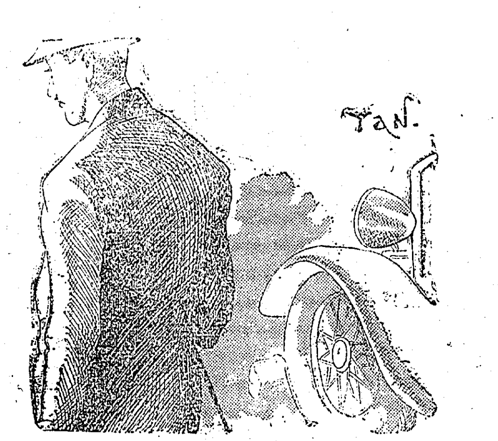
『はゝあ、私は山上ですが、はい誠に恐縮ですが、峰山伯爵家の御令孃の死體について是非御意見をうかゞひたいと思ひますが、はい、他に鑑識課の方でも參考までに貴方の御意見をうかゞひたいといつてをりますから、はいではお待ちいたします』

電話が切れると山上課長は亦何やら沈思にふけつて咲山の來るのを待つた

それから三〇分ばかり經つから咲山は警視廳の前にタクシーを乘りつけた。背廣のせう洒とした姿白皙の顏に黑々と短く髭を刈つて細身のステッキを持つた何處から見てもおだやかな好紳士でなければならなかつた

課長室に入ると課長はさすがに丁重に挨拶して椅子に招じた

二人は眞晝の光明を明かるく受けながら何處までもおちついた顏を見合した



御參詣團体募集

一、柳津虛空藏尊（猪苗代湖＝白虎隊廻り、自動車賃往復御一名金二圓也）
申込締切六月九日、出發六月十日午前四時

二、鹽釜神社（竹駒稻荷參拜、仙臺正宗公三百年祭、鹽釜神社五時間御休憩）
申込締切六月十三日、出發十四日午前二時（往復自動車賃御一名樣金貳圓八十錢）

三、日光（笠間稻荷廻り、御一名樣自動車賃往復金二圓卆錢）
申込締切六月十五日、出發六月十六日午前一時

定員は各車共二十二名
定員未滿ノ節ハ勝手乍ラ延期致ス事モアリマス
尙御希望ニ依リ各種團体モ御相談ニ應シマス

主催 尼子遊覽部 電六四〇番

僅かの氷で非常に早くよく冷ゐる……!

丸ほん冷藏器……

御家庭にも御營業にも最も理想的な冷藏器……

今年は外壁の絕緣裝置を特に完全に改良を加へましたので、より一層僅かの氷で非常によく冷える樣になりました、內部の構造にも一大改良を加へましたので排水が良くすべて便利になりました爲に貯藏される期間も延長されました、價格は……精選した材料を完備した製法に依る大量製産の爲良品を廉價に御提供する事が出來ます。

丸ほん新家庭型……金十五圓より
丸ほん新型六號……金七十圓まで

▼各種豊富陳列：御一覽を願ます

株式會社 丸ほん商店
營業所 平町三丁目一六 電話三五九番 振替東京二一七二四
製作所 平町新田前 電話一八二番

國は日本。凍魚はヒノマル

ヒノ◎マル 凍魚

日本水産一手特約 發賣元
平製氷株式會社 電話二八一・三一六番
平町代理店 ト印魚問屋 電話二五八番

鯛。海老。白魚。イカ
刺身魚、煮魚、各種品々一個一尾ニテモ迅速配達……

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
(久) 釜屋商店
磐城國平町五丁目 電話九九番 振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

お醬油は……ヤマフル
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
鹽屋 山崎合名會社
磐城國平町 電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

石炭 一〇〇%サーヴヰス
時節柄ダンゼン値下げ！
一等塊 正味五十斤入一俵 金貳拾八錢
特塊 同 同 金參拾五錢
品質が優良 目方が正確 デナケレバ値段バカリ安クトモ結局高イモノニナリマス
此の點は當店を絕對に御信用願ひます。
市內ハ一俵ヨリ迅速ニ配達致シマス。
電話三七番
石炭 コークス 豆炭 阿部石炭商店

產婦人科 外科 藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 內木宗八
藥劑師 玄番彌一
入院隨意 病室完備
平町新川町十九番地 木村病院 電話一六四番

平町田町 高久病院（電話五三一番）
內科 外科 小兒科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽濟
藥劑士 佐竹菊雄

使用者の滿足せる
ダンロツプタイヤ
販賣代理店
株式會社 百澤商店
電話（平）十二番

移轉披露
每度御引立を蒙り御蔭を以て一層內容も充實致し客年に倍して營業の發展を見るに至りしは偏に各位の御指導宜敷きを得たる賜物と深く感謝致し居り候
今般業務の發展上狹隘を告げるを以て左記へ移轉仕り候間今後の募集等に對しても精々御後援被下樣幾重にも御依賴申上候 敬具
△移轉場所 平町十五丁目 信用組合跡
一德合資會社平支店

內外 建築材 建具材
(入) 阿部材木店
磐城國平町（公園下）
阿部好利 改メ（章）
電話四九四番

夜間診療
胃腸 性病 專門
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
（見習看護婦募集）
松村胃腸性病科醫院（平町南町電一〇七番）

小兒科
平町南町五〇番地
志賀醫院 電話一六二番
（入院應需）

精神病科 脳脊髓病科 神經病科
郡山市外大槻村針生
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山脳病院 電話九二五番
院長 醫學士 金森五郎
入院隨時

耳鼻咽喉科專門
平町田町（電六九一）
病室完備 自炊ノ便アリ
醫學士 山內亨吉
山內醫院

月曜論壇

調査會に期待す

物ごとには總て締め括り即ち決算報告なるものが無ければならない。之の意味に於て過般來相踵いで各方面に出かけて居る平町市制調査會各部委員の出張に對しても、歸來『復命』と云ふ言葉に異論ありとせば少くとも其の調査報告と云ふものの發表あるべきを信じて疑はない、蓋し會社の業務擔當社員が株主に對して毎期の成績を報告する義務ある如く、常に町費の分擔に與り之種出張經費等に就ても其の全部を轉嫁せしめられつつある町民に之が報告を要求するの權能を附與さるべきは此際餘りに明白なる理論なので、敢て之を仄めかさずとも必ずや其事あるべきを信じ度いが、旋て吾人町民の前に展示さるゝ報告の內容が果して町民大衆の期待に副ひ得るや否や其間些か懸念無きを得ぬものがある、何となれば各部が最初視察目的地を撰ぶに當り果して如何なる處に最大の重點を置いたかに就き未だ必ずしも或種の懷疑無きを得ぬからである、聞くが如くんば某々部の編成した旅程のスケヂユルが適々一二その視察地を同じうし町民の手前遽かに之を變更したると云ふが如き、之をしも偶然の暗合と云へば其迄であるが、由是觀之、視察地の選擇は最初から其の調査硏究の項目に出發したと謂はんよりは寧ろ其れ以外に目標を置くではないかと云ふ事も此の場合決して許されぬ推測では無い、斯くして吾人は町費の一部に若干の私財を加へ以て或は一日の旅塵を滾々の靈泉に洗ひ、一盞後の微醺を湘南の潮風に吹かせ乍ら文豪紅葉の傑作を偲び、或は古典的な京洛の雰圍氣に醺つて平安の古を探る等綽々たる閑日月裡に蒐め得た緩漫なる收穫が尙は所謂焦眉轍鮒の財源難に脅かされつゝある卽今の平町に克く何物を齎し得るか、興味は一に繫つて骰子の出方に在る、吾人は多大の關心を之に挑つて其の決算報告に期待する事にしよう

けふ伊藤知事により 入山で御下賜金傳達式
咽び拜す遺家族一同

聖恩洪大

入山採炭株式會社坑內變災遭難者技師原義雄氏以下五十二名の遺家族に對する御下賜金傳達式は今十日午後二時から同社神兆俱樂部に於て伊藤知事によりいとも嚴かに執行、吉田所長及拜受者總代原未亡人から次の如く御禮を言上した

入山採炭株式會社今次ノ變災ニ際シ原義雄以下五十二名ノ遭難者ニ對シ　長クモ叡慮ヲ垂レサセラレ優渥ナル賑恤ヲ仰ク洵ニ恐懼感激ノ至リニ禁ヘス　今後倍々內外施設ノ完璧ヲ期シ變災ノ絕無ニ勗メ以テ國家產業ノ興隆ニ力ヲ致シ　聖恩ノ萬分ノ一ニ副ハンコトヲ誓ヒ奉ル

右執奏ヲ請フ

昭和十年六月十日

入山坑務所長　吉田宗雄

入山採炭株式會社今回ノ變災ニ於テ遭難シタル原義雄以下五十二名ニ對シ　長クモ　天皇　皇后兩陛下ヨリ御救恤金ヲ下賜セラレ　聖恩ノ優渥ナル洵ニ恐懼感激ノ至リニ堪ヘズ　玆ニ拜受者ヲ代表シ謹ミテ御禮ヲ言上ス

右ヨロシク御執奏ヲ冀フ

昭和十年六月十日

遭難御下賜金拜受者　代表　原　はる

同好二百名が集まり 平町聯合書道會創設
昨日盛大に發會式

平町各書道會員及び同好者の『平町聯合書道會』創立總會は昨九日午後二時より平第二校に約二百名參集、千葉書海社支部長開辭、同經過報告、會則審議、會頭に青沼町長、副會頭に篠山、千葉、赤津三小學校長を推戴、青沼會頭挨拶を述べ(評議員)鈴木秀翠外廿三名(理事)鈴木健太郞外九名(會計)熊谷保高外一名(常任理事)常陸鶴之助外一名(顧問)井上茂作外廿七名(名譽會員)小野伊佐治外四十四名を選任、臨席の浪越會新山町半谷松湖氏、並に室直與氏祝辭、協議に移り全國書道展覽會を半谷松湖、松本芳翠兩氏選により、同講習會を松本芳翠氏により何れも八月十七日より三日間第二校で開催に決定、終つて半谷氏により講演並に實演添削を行ひ午後四時盛會裡に閉會した

モシモシ料百圓也 平からローマへ
國際電話近く開通か

遞信省の國際無線電話中繼施設による無線電話の對歐通話區域擴張第二期計劃については、かねてイタリー、ローマ無電局との間には既にテスト其の他の準備を終り、次でフランス、パリーとの間に去る四日より無電通話實施準備打合せを行つてゐるので、目下の所では來る七月早々よりイタリー、フランス兩國との間に直通無電通話(一通話百圓)が開始される見込みである、なほ遲羅盤谷及支那南京との間の通話は設備の關係から少々遲れる模樣でこれについで本年度中に南米ブエノスアイレス其の他と通話を開始する豫定となつてゐる

本縣巡査採用試驗

來月一日平署會議室外郡內三ヶ所で行はれるが採用人員二十五名で試驗科目は作文、算術、地歷、國語、希望者は願書に身分證明書を添え試驗當日迄提出されたいと

斷水

平町內左記町區は四軒町地內水道管故障のため十日午後十時から明十一日午前四時迄斷水する

仲間町、番匠町、北白銀、柳町、四軒町、櫻町、北目町の一部

。。。。高久村會

十日午前十時から開き左記諸件を附議した

小學校基本金未納整理、十年度歲入出豫算、郵便事務取扱所三等局昇格を仙臺遞信局へ陳情の件

同村字猿田並樋口に至る道路改修中此程竣功、十日竣功式を擧行

鳴り物總動員
今十日『時の記念』
功勞者蛭田喜一氏表彰

平町では今十日の時の記念日に際し正午から一分間町內各所の警鐘を一齊に打鳴らし、神社、寺院もこれに和して鐘太鼓を鳴らし町民の時の記念强調に努めた、尙川部村農業技術員蛭田喜一氏は此の日に際し多年農事生活改善に努めた廉により縣から表彰された

各學校 記念講話の外△第一校 全校生千四百四十七名に就いて時間勵行狀態を調査したが遲刻一名もなく缺席百四十一名朝會の遲刻僅か二名で自習時間前に登校したもの千百四十一名、同終了迄に登校百十四名であつた△第三校 午前四時五十分迄登校の早起會を行ひ同五時調查、出席千二百二十一名中千百七十九名遲刻五分一厘强の六十三名であつた

視察通信
安城から岡山へ
七日夜岐阜にて
產業資源部委員　佐木々生

準急にて出發豫定の安城町視察期待に反し町政には見るべきものなし唯町農會、郡農會、及產業組合の發達著しきものあり農業方面の進步と合理化には驚異に値するもの有之候產業組合經營の大病院あり町農會の施設になる圖書館の設置など與に見るべきもの多く候、今夕當市着商業會議所訪問、明朝は岡山へ向ひ可申候、當地方各驛に各種大工場の新設を見煙筒の林立するは羨望に堪へず候、一行無事に候

アンジョウ(安城) 愛知縣碧海郡に在る町、岡崎市の西方約八粁、鐵道東海道線の一驛がある、松平氏の舊城邑で安城々址がある三河國西部の農業の中心地で近時西瓜、梨果の產出が多い。人口二萬三千

平署のダニ狩り
愈々寶刀の鞘を拂ふ
今早曉九名を檢擧

本縣下の不良團掃蕩は過般の警察部長會議に次ぎ各署に於ても內々方針を進めてゐたが今十日午前五時縣下一齊檢擧の通牒に接した平署では柴田署長指揮の下に官私服警官が八方に飛び最も惡辣と見て內偵を進めてゐた某々九名の寢込みを襲ひ一齊檢擧した

他へも飛火か?
指名手配の永瀨某其他 可なり大物もある模樣

檢擧された九名は直に渡部齊藤兩司法主任係りで嚴重な取調べに着手未だその罪狀は判明しないが、何れも一かどの不良連であり詐欺恐喝、婦女誘拐等も摘發されるものと觀られ、これに伴ひ意外な方面迄飛火するではないかと云はれ、殊に九名中永瀨某は植田署の指名手配により逮捕されたもので身柄は近く植田署に移される筈であると

第二次檢擧
近く斷行の方針

第一次檢擧を終つて柴田署長は今十日午前署長室に於て

―入山の變災などで延びてゐたが早くから內々搜査してゐたもので、近く第二次檢擧に着手する考へだ

と力强く語つてゐた、尙同署司法方面でも此程不德漢の被害がある場合は被害者に何ら迷惑を及ばさぬから遠慮なく投書して欲しいと意氣込んでゐる

。。。。敎育視察團來平

北海道十勝敎育會小學校長十名、町長一名の一行は明十一日來平、役場、各小學校の學事視察をなす

押入に胎兒
中年女に暗い影
平署に擧げらる

平署では今十日早朝來豐間村大字沼の內字中街雜貨商遠藤チヨ(三三)を召喚、墮胎の被疑者として渡部司法主任係り取調べを進めて居るチヨは昨年十二月頃同村某の胤を宿し世間体をはぢ僞名して去月上旬頃某醫師の手で五ヶ月の胎兒を墮したものゝ僞名した關係から埋葬認可證が貰へず處置に窮してその儘押入れに隱し穩匿中平署で探知したものである

裏切りと思ひ込んで 本挽爺が愛慾の一擊
內妻に重傷を負はせ自首

勿來町字關田今井粂吉方木挽職滋賀縣生れ內貴久吉(五四)は二ヶ月前から內緣の妻早坂はつゑ(三五)と共に今井方に同居することになつたが、最近はつゑが今井と親しくしてゐるので情交關係あるものと邪推し、八日午前九時頃今井の留守中はつゑが軒下で洗濯してゐた背後から職業用の斧で右肩先外二ヶ所へ何れも長さ十ミリ骨膜に達する瀕死の重傷を負はせ、鮮血を浴びて打ち倒れるを見て茨城縣多賀郡關本村に逃れ同日正午頃第二駐在所へ自首した、松原署から久吉の身柄を引取り植田署で取調中

。。。。二歲駒耀市

郡內の二歲駒耀市は來月四日から三日間川前村、同九日上小川で開くが過般の中寺、黑田の相場から見て相當良値を示すものと觀られてゐる

。。。。豐間道路竣功

豐間村下は工費四千圓で昨年十一月

鄕土の史的時事解說（二）

白水阿彌陀堂の第二回修理（一〇七）
本堂宇の特別保護建造物並に內廁安置五佛像國寶各指定に就て
勿來生

其の當時、平泉家の滅亡と共に岩城氏も衰退したから、彼れの繁榮を物語る白水の寺社、堂宇は、後ち甚だ荒廢に傾いたので、鎌倉より新封の千葉、佐竹黨何れかの將士に依り、特に保護、修理を加へしを、該札に誤記したと想像したい。故に當寺並に堂は、則道夫妻が平泉に模倣して發願して先づ初め寺が成り、尋いで白堂を建立する最中か直前か分らぬが、彼れが遽かに死去したので、妻(秀衡妹)が尼となり、遺志を承けて完成したと解したい

傳說では、その故鄕を懷うて忘れがたく、其の居る所を平と稱し、又隱棲の地を卜して白水と名づく、卽ち平泉の字を分ち、平泉に擬すとあるが、其等の地名的異同はどうでもよからう寶曆に及び、當寺の住職が、緣起を記し、永く寺寶の一つとしたが、其の作法は固より通例の傳說と同じである。可成り長文であるけれど甚だ興味があるから次に全錄してみよう

顯成寺緣起

盖爲白水地也、自上古以降所聞舊邑、安置佛陀祭典、神明由來已尙矣、而居氏淳朴美稼最饒、今按鎌倉實記曰、成衡之後室德尼、源賴義女也、又曰波立等、今年出岩城三箱山麓白水寺寶藏矣、又誌曰永曆元年庚辰竊(二月)十五日之晚、平泉之本尊阿彌陀如來託靈夢曰德尼汝所求名區者、岩城白水山是也、速往可開基之矣其驗誰容狐疑哉、於此予恒見四方、形勝東有流水名堂持雅波羅、可以擬青龍者是也、南有田畔、名宇波陀伊、可以擬朱雀者是也、西有大道名津留志之澤、頂觀世音在、可以擬白虎者是也、北有高山名經塚、山頂圓如盛物器古老說曰、昔時埋經卷、以致供養者乎、山左有瀧名伊毛雅味山、右亦有瀧名瀧本、二瀧各不動尊在可以擬玄武者是也、已如斯、可謂曰神相應地也、今現所阿彌陀如來本堂此是中心也、本堂由來見誌故略之、諺曰

阿佐比左須、由宇比可雅野久、曾埜志多仁、宇留志瀨無馬伊、故雅年瀨無馬伊

各署一齊に
植田十名、四倉四名

植田署でも同時刻を期して錦村大倉無職根本秋次(四四)外九名を檢擧、四倉署でも容疑者として四名を檢束、夫々取調べに着手した

馬が暴れ出して
自分の車に轢かる
トラツクの爲馬子傷く

高久村下高久農坂本喜作(五七)は昨九日午前十時半頃荷馬車をひいて平町新川町地內を通行中前方から疾走して來た上遠野村自動車業馬上哲雄方運轉手蛭田欽(二七)運轉のトラックを避けんとした際車体が馬の鼻先にふれたので馬が暴れ出し喜作は自分の車に轢かれて左足を骨折(全治三ヶ月)した

。。。。傳貧馬檢診

石城產馬畜產組合では來る十八日から來月二日迄傳貧馬檢診を行ふ

十一日（小名濱測候所調查）

日出 四、二一　月出後 一、二二
日沒 六、五二　月沒前 〇、二三
滿潮 後一〇、〇五 後一一、四〇　干潮 前六、一五 後四、五〇

新六月十一日 火曜 戊午 先勝 建 室宿 舊五月十一日

諸判定應需　東京市本鄕區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白 十分と見込みて怨せし事も外れ勝ちなる日▲二黑 心緒亂まの如く氣落付かず取捨にまよふべし▲三碧 殺伐の氣を出す時は成るべき事も破るべし▲四綠 まよひのくもに閉されて進退の自由を得ざる日▲五黃 自儘の氣を生ずる時は物事失敗に歸すべし▲六白 開き遊びより意外の口舌を惹起す事あり▲七赤 順調に見えても外より破れを生じ易し注意▲八白 高位に居れども兎角足許に不安を帶びる日▲九紫 次第〳〵に幸福になり行く吉日急ぐ勿れ

廣告

吉田眼科病院

中等學校國防服賣出
夏服新荷着……

洋服は高島屋
注文並に既製品
高島屋洋服店
平町二丁目 電話三八六番

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平町田町（元合津醫院跡）電話五五九番

磐城代表的の土產品
山。靈峰羊羹
里。柿羊羹
海。のり羊羹 各一本金十錢
右美麗三本箱入特價三十錢
御旅のお出入に便宜な手頃のお土產品です
小賣御希望の方お申越下さい。
製造發賣元 小川鄕驛前 平屋賣店

內臟外科一般（入院隨意）
外科花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九